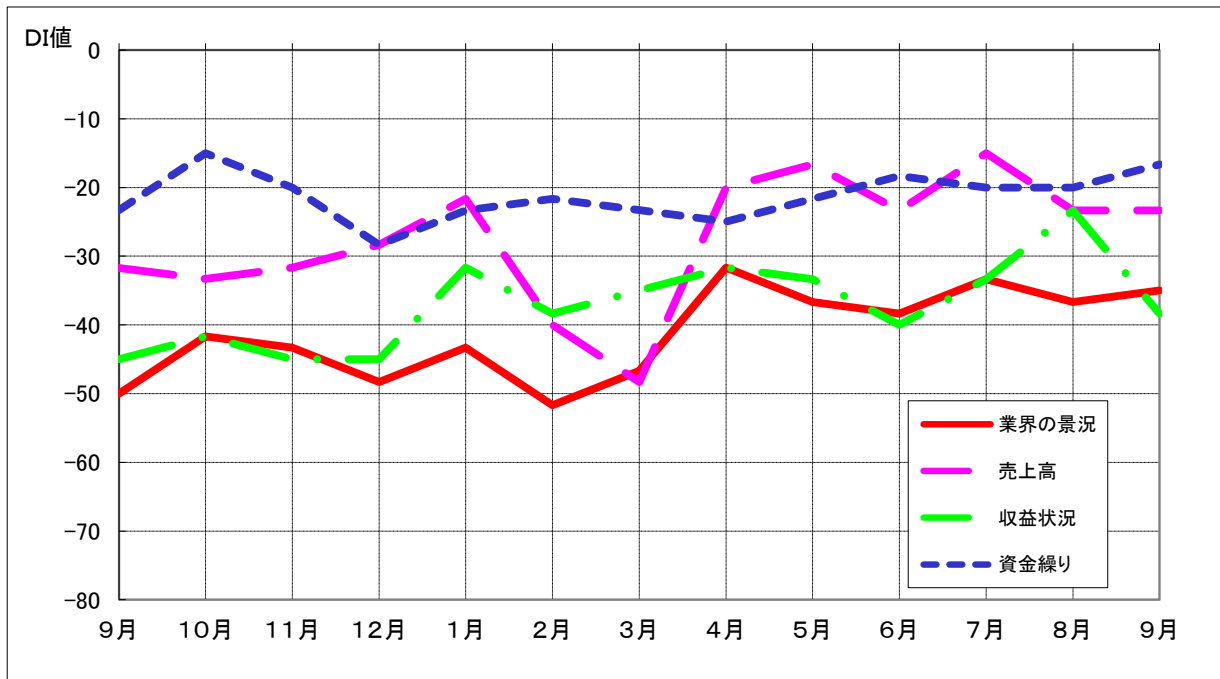


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年9月～平成24年9月

単位:ポイント



	H23				H24								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3	-36.7	-35.0
売上高	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0	-23.3	-23.3
収益状況	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3	-23.3	-38.3
資金繰り	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7

○9月のDI値は前月と比べ、1項目で悪化し、2項目で改善した。「収益状況」DI値は15ポイント悪化し、「業界の景況」DI値は1.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善した。「売上高」DI値は変わらなかった。また、前年同月と比べると、全項目で改善した。「業界の景況」DI値は15ポイント、「売上高」DI値は8.4ポイント、「収益状況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイントとそれぞれ改善した。製造業においては、依然として原料価格の高騰や受注の減少が続く、非製造業においては、猛暑等の影響による売上の低迷、販売不振等の声が聞かれた。一部の業種で好調な動きが見られるものの、総体としては長引く需要の停滞等の影響により先行きが不透明であるという声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、外衣製造業からは、日中関係の悪化から、中国人実習生の帰国の申し出があり、大変な事態の工場もあるとの声、機械器具製造業からは、雇用調整助成金を利用するところが多くなったようであるとの声が出ている。一方、建具製造業からは、春から盛り上がらなかった住宅市場が活況を呈してきたという声が出ている。非製造業では、商店街からは、9月も猛暑であったため、セール時期を見直さねばならないとの声、建設業からは、売上高は前年並みであるが、依然として低価格のため、収益が悪化しているとの声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望として、中小零細業者に対するバックアップ、対岸のアジア諸国との関係改善を望む声があった。